

始良市立柁城小学校研究公開

1 研究主題

学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する学習指導法の研究～主体的・対話的で深い学びにつながるICT機器の効率的・効果的な活用を通して～

2 全体会

全体会は、本会場と2か所のサテライト会場をTeamsでつなぐハイブリッド型で行われました。

研修係の水田和樹教諭からは、「1年目は、教員も子どもも『とにかく使ってみよう。』を合言葉に、授業はもとより児童会活動や職員会議、校内研修等で積極的に端末を使った。2年目は、『可視化』『個別化』『共有化』の視点で活用目的を整理して学力向上につなぐ効率的・効果的な端末活用にシフトチェンジした。」と研究の経緯について報告がありました。

宮路公貴校長からは、「ICTは決して万能ではなく、活用目的を明確にした授業づくりが大事。これまで積み上げてきた教育とのベストミックスを探るべく、今後も実践・研究に励んでいきたい。」と挨拶がありました。



【本会場の様子】



【サテライト会場の様子】

3 分科会

公開授業は、柁城小学校の「ICT機器活用のよさを十分に生かす。」という研究の趣旨を踏まえ、オンラインで行われました。別室で授業を参観するメリットを生かし、参加者は、授業やICT機器活用に関する質疑応答や意見交換をその場で行いながら授業を参観していました。

授業研究では、「ICT機器の効率的・効果的な活用」をテーマに小グループで協議した後、ロイロノートを用いて全体で意見を共有し、交流しました。

(1) 第2学年算数科・山下真司教諭の授業について

公開授業では、児童が自ら3の段の九九を構成するために、三輪車全体のタイヤの個数を、乗法の式に表して求める学習活動を行いました。

児童は、ロイロノート上でタイヤのアイコンを動かす活動を通して、三輪車が1台増えるとタイヤが3個ずつ増えることに気付いて式を立てていました。

研究協議では、「端末操作がよくできている。算数科に限らず日常的に使っているからこそ操作技能が身に付いている。」という意見の外、「アナログの方がよかった場面もあったのではないか。」「本時では、全員がかけ算で問題解決に向かっていった。たし算を使ったり図を用いたりして解決に向かう方法にも触れることができれば、対話場面をつくり出すことができたのではないか。」等、活発に意見が交わされていました。



【算数科の授業の様子】

(2) 第5学年社会科・永井秀樹教諭の授業について

公開授業では、貿易や運輸が日本の工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解するために、それぞれの輸送手段の特徴を資料から読み取り、運輸の果たす役割を考える学習活動を行いました。

児童は、各自で調べて付箋紙にまとめた輸送手段の特徴をロイロノートで共有・整理しました。その後、輸送手段がなかった場合の日本の貿易についての意見交換を行い、外国との貿易を行う上で運輸が果たす役割の重要性を理解しました。

研究協議では、「共有ノートを使うことで、発表せずとも意見交換ができていた。」
「それぞれの意見や考えを共有することで学びを深められていた。」という意見の外、「個別最適な学びをどのように実現していけばよいか。」等のテーマで活発に意見が交わされていました。



【社会科の授業の様子】

(3) 自閉症・情緒障害特別支援学級国語科・蝦原靖雄教諭の授業について

公開授業では、『伝えにくいことを、どのような伝え方をすれば、相手に受け止めてもらえるか。』について考える学習活動を行いました。児童は、ロイロノートで共有した交流学級の児童の考えも参考にして、自らの考えを広げたり深めたりしていました。

研究協議では、「端末を使うことにより、書く意欲や学習への集中力が高まった。」「一人一人の個別の実態に応じた指導の手立てが大切だ。」「特別支援学級の児童は、交流学級の児童と別々の教室で学ぶことが多いが、端末活用により、同じ学習目標・学習内容で学んでいるという実感を強くもてそうだ。早速、明日からの授業に生かしたい。」等、活発に意見が交わされていました。



【国語科の授業の様子】

【参加者の感想から】

- ICTは、「目的に応じて使う。」というところが大変参考になりました。
- 様々なアプリを活用したいが、学校現場では使えないことも多いので、ないことに困り感をもつのではなく、あるものをどのように活用するべきかを考えていきたいと思いました。
- 5年生が主体的に学ぶ姿に感動しました。特に、タブレットをささっと操作したり友達同士で助け合ったりしながら学んでいて、クラス全体で高め合っているなと感じました。
- タブレットの共有ノートを使ったり話し合ったりするのが上手いかずに悩む日々でしたが、根気強く使い続けていきたいと思いました。
- 本会場とサテライト会場に分かれてオンラインで配信される全体会や研究発表は初めてでした。新しい形ですね。この形が広がればいいですね。研究発表では、デジタルとアナログのそれぞれのよさを意識しつつ、ICT機器の効果的な活用法を学校一体となって取り組んでおられる様子が分かりました。学習指導案にICT活用の項目が入っているのが分かりやすかったです。『とにかく使ってみよう。』本校でも取り組んでみたいです。
- かけ算九九の学習に「複製」の機能がぴったりで、とてもおもしろかったです。前時を想起させるとき、言葉だけでなく、写真も一緒に見せるのはよいと思いました。